

パッチテスト 検査方法

★パッチテストについて★

- ◆ パッチテストはアレルギー性の接触皮膚炎や薬疹の原因特定に有用な検査です。検査方法は、原因物質と思われるものを背部あるいは上腕などに2日間貼付し2日後、3日後、7日後に反応を見る検査です。
- ◆ 当院では主に金属パッチテストを行っています。他の原因物質の検査もできる場合があります。

★検査手順★

- ① 外来にて、検査用のテープ(右図)にアレルギーの原因物質を乗せ、そのテープを背中あるいは腕、おなかに貼ります。48時間(2日間)貼り続けます。
- ② 48時間(2日間)経ちましたら、受診前にご自宅で検査のテープをはがします。
- ③ 1回目の判定、48時間後(2日後)判定を行います。
- ④ 2回目の判定、72時間後(3日後)判定を行います。
- ⑤ 3回目の判定、1週間後(7日後)判定を行います。



★注意事項★

- ◆ 入浴、プール、汗をかく運動は検査期間中できません。
- ◆ 痒みが強い場合は、タオルにくるんだ保冷剤などで冷やしてください。

